



2024年7月30日

各 位

上場会社名 M&Aキャピタルパートナーズ株式会社  
代表者 代表取締役社長 中村 悟  
(コード番号 6080)  
問合せ先責任者 取締役企画管理部長 下田 奏  
(TEL 03-6770-4304)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年10月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2024年9月期通期連結業績予想数値の修正(2023年10月1日～2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,835	8,102	8,104	5,436	171.20
今回修正予想(B)	19,305	6,201	6,199	4,277	134.67
増減額(B-A)	△3,530	△1,901	△1,905	△1,159	
増減率(%)	△15.5	△23.5	△23.5	△21.3	
(ご参考)前期実績 (2023年9月期)	20,851	7,449	7,470	4,225	133.17

### 修正の理由

今期は、前年の業績を押し上げた超大型案件の収益貢献が剥落する影響を打ち返すべく、コンサルタントの営業活動量を高め、成約件数を大きく増加させることにより増収を目指す計画としておりました。この結果、今期を通じて高い営業活動量を維持し案件の増加を推し進めることができ、当第3四半期連結累計期間の成約件数は前年同期比30.7%増加、過去最高となりました。このような中、当第3四半期連結会計期間を見ると大型案件の成約も増加し1案件あたりの平均単価は約80百万円と第1四半期連結会計期間および第2四半期連結会計期間と比較して上昇いたしましたが、当期を通じて大型案件の成約件数が低調に推移した遅れを取り戻すには至らず、累計での平均単価は約77百万円となり業績予想単価である約103百万円に及ばず、通期業績予想に対する進捗に遅れが生じております。

第4四半期連結会計期間における業績の巻き返しに注力しており、業績の先行指標である受託案件数や契約負債の水準は第3四半期末時点で過去最高を達成していることから、大型案件を含む成約が続くと見込んでおります。

また、提出会社においては、第3四半期末の翌日である7月1日に多数の大型案件が成約しており、2024年4月1日から2024年7月1日の間の成約案件で単価を算出した場合の当社単体の平均単価は業績予想単価と近い水準の約99百万円(当社単体)と改善しておりますが、現状の案件状況の精査を踏まえ、第4四半期連結会計期間でこれまでの遅れを吸収することは難しく、通期業績予想を達成することが難しくなりました。

以上を踏まえ、通期業績予想が売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見込みとなったため、修正いたします。

なお、配当予想の修正はございません。

※上記業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上